

名古屋市科学館の観覧券は オンライン購入がおすすめ

▶ プラネタリウムをはじめ常設展示室や特別展のチケットを
事前にクレジット決済にて購入できます。

※窓口での当日販売は現金・クレジットカード決済・電子マネー決済・QR決済で購入可能。
※オンラインでの観覧券購入の場合、一部の割引はご利用いただけません。

▶ 行列に並ばずに観覧券を購入できます!

▶ プラネタリウムの観覧券を確実に購入! 座席の指定ができます!

名古屋市科学館 チケット販売サイトはこちら
<https://ticket.ncsm.city.nagoya.jp/>



名古屋市科学館 公式SNSのご案内



Instagramアカウント
@ncsm_Nagoya



Xアカウント
@ncsm_Nagoya



Facebookアカウント
名古屋市科学館【公式】



楽しい情報が
盛りだくさん!
ぜひフォローを
お願いします★



〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号(芸術と科学の杜・白川公園内)
TEL:052-201-4486 FAX:052-203-0788
団体予約 TEL:052-231-9771

■休館日／毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)、8/12は特別開館
毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)、8/15は特別開館
年末年始、9/2、9/3は臨時休館、9/4、9/5はプラネタリウム休演
※上記以外の休館日については当館のウェブサイトをご確認ください。

■観覧時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■観覧料(下記の特別展は【古代DNA -日本人のきた道-】です。)

	展示室とプラネタリウム	展示室のみ	特別展と展示室と プラネタリウム	特別展と展示室
一般	800円	400円	2,200円	1,800円
高校生・大学生	500円	200円	1,300円	1,000円
中学生以下	無 料		500円	500円

※高校生・大学生は学生証が必要です。※未就学児は無料です。

■科学館公式ウェブサイト
<https://www.ncsm.city.nagoya.jp/>



■交通のご案内

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、4・5番出口から南へ徒歩約5分
市バス「広小路伏見」下車、南へ徒歩5分
名鉄バス「白川公園前」下車北へ徒歩5分

名古屋市科学館 イベント情報誌



科学館 マスコットキャラクター

アサラ

⑦ ストロ[ASTRO]宇宙
⑧ サイエンス[SCIENCE]科学
⑨ イフ[LIFE]生命

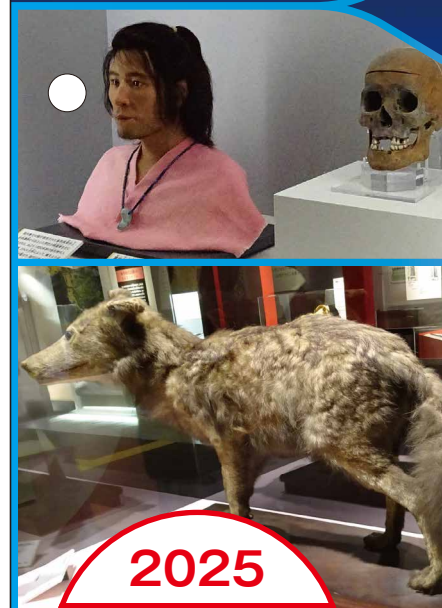


DNAで探る
あなたのルーツ

特別展
古代DNA
Ancient DNA: The Journey of the Japanese People

——日本人のきた道——

2025 7.19(土)・9.23(火・祝)



2025

夏号

No.440

DNA分析で判明した血縁関係



※写真は東京会場での様子。



■特別展「古代DNA -日本人のきた道-」 ■プラネタリウム100周年と新展示

■謎の奇獣?「パレオパラドキシア」 ■新しい展示のアイデア募集

■科学館行事予定表

■令和7年度科学創作コンクール作品募集

■教室やプラネタリウムなど

■オンライン購入・公式SNSのご案内



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



特別展
古代DNA
Ancient DNA: The Journey of the Japanese People
Special Exhibition
日本人のきた道

遺跡から発掘された古代の人々の骨に残るごく僅かなDNAを解読し、人類の足跡をたどる古代DNA研究。

近年では技術の発展とともに飛躍的な進化を遂げ、ホモ・サピエンスの歩んできた道のりが従来想像されていたよりもはるかに複雑であったことが分かってきました。

本展では、日本各地の古人骨や考古資料、高精細の古人頭骨CG映像などによって、最新の研究で見えてきた遥かなる日本人のきた道と、集団の歴史が語る未来へのメッセージを伝えます。

DNAで探る
あなたのルーツ



4. 国家形成期の日本
—古墳時代を生きた人々—

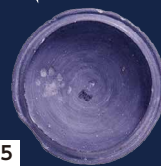
古代DNAが語る古墳時代の親族関係



トピック1
イヌのきた道

DNAで挑む
ニホンオオカミの謎

5



古墳時代の
土器についた
ネコ?の足跡

5. 南の島の人々
—琉球列島集団の
形成史—

海上往来は人々のDNAに
何をもたらした?

トピック2
イエネコの歴史

3. 日本人の源流
—さまざまな弥生人とその社会—

彼らはどのように暮らし、交流していたのか…
出土した土器や道具類も必見!



2. 日本の基層集団
—縄文時代の人と社会—

今もなお現代に残る
縄文人のDNA

6. 北の大地の人々
—縄文人がアイヌに
なるまで—

日本列島における人と文化の多様性



1. 最初の日本人
—ゲノムから
見た旧石器
時代の人々—

ゲノム解析が進む
“最古の日本人”



0. プロローグ

- ① 白保竿根田原洞穴遺跡 4号人骨 旧石器時代 沖縄県白保竿根田原洞穴遺跡 沖縄県立埋蔵文化財センター
② 発掘した古代人(船泊遺跡23号人骨)から制作した3DCG 国立科学博物館
③ 左: 久米三成4号墳第1主体第2号人骨(壮年女性)・右: 久米三成4号墳第1主体第1号人骨(熟年男性)
いずれも古墳前期、4世紀 岡山県久米三成4号墳 岡山理科大学

- ④ ニホンオオカミの剥製 年代不明 由来不明 国立科学博物館
⑤ 動物足跡付須恵器 古墳終末期、6世紀末～7世紀初頭 兵庫県見野6号墳 姫路市教育委員会
⑥ 左: イモガイ腕輪(ヨコ型) 中: イモガイ腕輪(タテ型) 右: ゴホウラ腕輪 いずれも弥生中期 佐賀県吉野ヶ里遺跡 佐賀県
⑦ 北黄金貝塚4号人骨(縄文人) 縄文前期、6000年前 北海道北黄金貝塚 伊達市教育委員会

※会場図の写真は国立科学博物館での展示の様子とプレスリリースより

古代DNAと、“〇〇〇〇”

“化学” 同位体を知る

原子の中心にある原子核には陽子と中性子があります。炭素原子の場合、陽子の数は必ず6つです。

一方、中性子については6つ、7つ、8つなど、数の異なるものがあります。陽子と中性子の数を足して¹²C、¹³C、¹⁴Cと表します。これが同位体です。

また¹²C、¹³Cの原子核は安定していますが、¹⁴Cは不安定なため時間がたつと放射線を出して崩壊し¹⁴Nへと変わります。このような性質を持つ同位体を放射性同位体といい、これを利用したのが放射年代測定です。

(化学担当学芸員)

“年代測定” 科学で歴史を紐解く!

歴史を紐解くために活躍する科学技術のひとつとして「年代測定」があります。考古学分野の研究でよく用いられる放射性炭素(¹⁴C)年代測定では、¹⁴Cが5730年で半分に減少するしくみを利用し、遺物に含まれる炭素の同位体の分析から年代を決定します。

この年代測定をさまざまな遺跡で行うことで、私たちの祖先がどのように地球を旅して歴史を築いてきたのかを知ることができるのです。

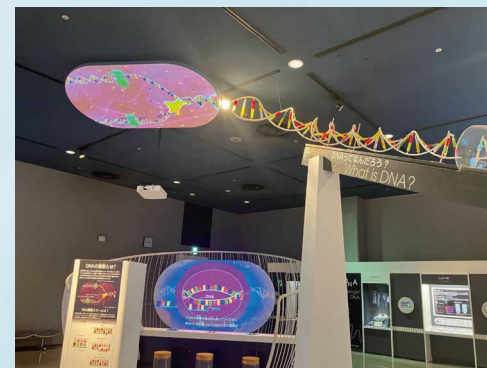
(地球科学担当学芸員)



■ 理工館5階
元素周期表

“生命科学” 生命科学の世界へようこそ

生命館5階の常設展示では、世界中の生きものに共通のDNAのつくりや遺伝子の働きを、パズルやクイズで遊びながら学べる展示がいっぱい!



■ 生命館5階 展示室「生命のひみつ」

名古屋市科学館の学芸員が、担当分野でこの特別展に関連しそうな豆知識や常設展示を紹介します。
特別展を見る前に・見てから、お読みいただくとさらに楽しめます!

“骨格模型” 人骨をじっくり見てみよう

私達ヒトの血液型を決める遺伝子や、太りやすさ、お酒に強いかなどに関わる遺伝子などを調べられる『遺伝子ナビ』もおすすめです。

古代DNA展とあわせて、生命科学の世界を覗きに来てくださいね。
(生物担当学芸員)

特別展会場の人骨は最も古いもので2万7000年前!めったに見る機会のないものです。さらに、あごや腕などの骨に注目してみましょう。

骨の日頃力がかかる部分が発達して形が変わることから、食べ物のかたさや力の必要な動作をしていたか、などを推測できます。科学館の常設展示にある、ヒトの全身骨格模型「骨パズル」と比べて、古代人の暮らしを思い浮かべてみましょう。

(人体担当学芸員)



■ 生命館4階
骨パズル

“地球科学” 海の底に残る記録



■ 理工館6階
ボーリングコア
ステーション

理工館6階のボーリングコアステーションには、さまざまな研究のために掘削されたコア試料の実物が展示されています。

現在展示されているのは、約7万4000年前に噴火した、インドネシアのトバ火山の火山灰を含むコア。この噴火の影響で地球環境は寒冷化し、当時の地球の人口はなんと10分の1になったと言われています。人類の歴史に関わる大きなイベントの記録は、海の底にもしっかりと残されています。

(地球科学担当学芸員)

プラネタリウム100周年と新展示

ドームの中を暗くして内側から星を投影するという近代プラネタリウムが、ドイツで発明されて100年。2023年10月21日の試験公開100周年から2025年5月7日の一般公開100周年まで、1年半の世界的な100周年イベントが終わりました。

世界的な閉幕イベントは5月8日未明(日本時間)に行われましたが、日本はゴールデンウィーク直後の平日の未明。そこで、日本プラネタリウム協議会では2025年5月24日にフィナーレイベントを行いました。2023年のオープニングイベントも含めたこれらのイベントの様子は現在もYouTubeで視聴できます。 https://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/astro/astro_news/planetarium100.html ▶



名古屋市科学館では2023年9～10月の企画展「プラネタリウム100周年」や2023年10月のプラネタリウム一般投影「星空とプラネタリウム」、2024年10月の一般投影「デジタル式プラネタリウム」、夜間投影などでプラネタリウム100周年企画を行ってきました。天文館5F展示室「宇宙のすがた」には、その期間に新設し、今後ご覧いただける展示物が3つ増えましたので紹介します。

1. デジタル式プラネタリウムのしくみ

デジタル式プラネタリウムは、地上の望遠鏡や宇宙望遠鏡、探査機などの観測に基づいた宇宙の様々なデータを持っています。例えば恒星の正確な明るさ、位置、固有運動のデータから、惑星、衛星、小惑星、彗星など太陽系天体の軌道や大きさ、さらに探査機の3Dモデルや軌道データなどです。まるでコンピューターの中にミニチュアの宇宙がまるごと入っているようなものです。この展示は直径1.5mのドーム型スクリーンに解説映像を投影しています。ボタンを押すと宇宙の様々な演出を体験できます。また、35mの巨大なプラネタリウムドームにどのように映像を映し出しているのかをCGで再現しています。たくさんプロジェクターの画像を繋ぎ合わせているしくみをご覧ください。



現在は国際宇宙ステーション内部のCGや、天の川銀河を外から見る宇宙旅行の映像も公開中です。またプラネタリウム一般投影の内容と連携して、奈良県・キトラ古墳の解説映像をご覧いただいた期間もありました。秋には名古屋シドニー姉妹都市連携45周年記念事業に関連した映像を公開します。

2. 世界最小と最大のプラネタリウム

名古屋市科学館の建物の象徴的な球体をデザインモチーフに、天文時計を専門とするオランダの高級ブランドChristiaan Van der Klaauw社(CVDK社)が制作した名古屋市科学館モデルの腕時計があります。2024年11月2日にそのうちの1本をご寄贈いただきました。

腕時計の盤面には太陽系のモデルとカレンダーが作りこまれており、時刻と共に、土星までの6惑星の位置と日付を常に表示しています。まさに世界最小のプラネタリウムなのです。さらにケース裏面には「名古屋市科学館」と「プラネタリウム100周年」の文字が英語で刻まれています。

表だけではなく鏡越しにですが、美しい裏面もご覧いただけるようになっています。隣のモニターに表示される図や拡大写真と見比べつつ、世界最小のプラネタリウムをお楽しみください。



3. モリソン型プラネタリウム

レンズを使ってスクリーンに星を投影するプラネタリウムはドイツのカール・ツァイス社により開発され、1926年には世界中どこでも星空も投影できる改良機が発表されました。このタイプのプラネタリウムをツァイス型といいます。展示室にあるツァイスIV型プラネタリウムもこのタイプです。

一方、1952年にアメリカのカリフォルニア科学アカデミーで開発された別のタイプのプラネタリウムがあり、モリソン型と呼ばれます。ツァイス型とモリソン型とは、恒星を投影する恒星球と、太陽や月、惑星の投影機を収めた惑星棚の配置が異なります。

このプラネタリウムは、東京の旧・荒川区立教育センターで1964年4月10日～2013年3月31日まで49年もの間、現役で投影し続けた五藤光学研究所製S-3型プラネタリウムです。国産最古のプラネタリウムとして活躍してきましたが施設・設備の老朽化を理由に引退しました。その後、五藤光学研究所内で展示されていたものを名古屋市科学館に移設展示しています。



新しい展示のアイデア、求む！

当館学芸員の調査研究事業にて、展示品の新しい作り方を研究しています。その一環として、来館者のみなさんから新しい展示品のアイデアを募集し、それを参考に学芸員が展示品を作り、みなさんに体験していただくイベントを開催します。

まずはこの夏休みにみなさんから展示品のアイデアを募集します。応募は、QRコードから回答用のGoogleフォームへアクセスするか、科学館理工館5階エレベーター前(情報端末横)に設置した回答用紙に記入して投函してください。

展示品の体験イベントは、12月24日から28日までと、2026年3月25日から29日までの2回開催します。

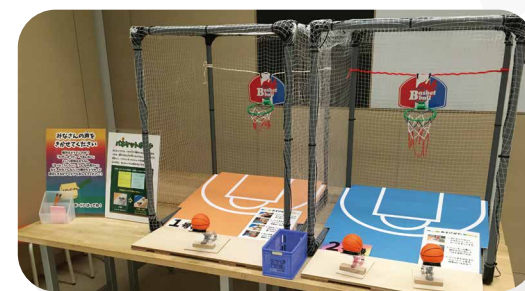
ぜひ、見たい！体験したい！展示品のアイデアを教えてください。そして、そのアイデアがカタチになった展示品を体験しにきてください。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。



こちらからGoogleフォームへアクセスできます。
応募期間：7月19日から8月31日まで



令和3年度の同イベントの様子



前回の展示品(バネケットボール)

「パレオパラドキシア」 名古屋市科学館に登場！！

みなさんは、「パレオパラドキシア」という生き物を知っていますか？昔の海で生きていたほ乳類で、今はもう絶滅してしまった生き物です。2022年6月、愛知県のおとまり岐卓県で、このパレオパラドキシアの化石が発見されました。名古屋市科学館の常設展では、化石が地層の中に埋まった状態をそのまま残したレプリカを展示しています。レプリカとして周りの地層も一緒に保存されているので、どのように骨が繋がっているのか、どのようなものが一緒に埋まっているのかも観察できちゃうんです！ぜひ展示室で、化石の迫力を感じながら、昔の地球や当時の生き物に思いをはせてみてください！



#パレオパラドキシア #謎の奇獣 #サメの歯
#まつぼっくり #コンクリーション



■ものづくり工房

(午後2時～午後4時)

身のまわりのものを使った簡単な科学工作です。

■ものづくり教室

(午後2時～午後4時)

科学原理を利用した科学工作です。
整理券必要
※整理券は午後1時30分から理工館3階「創造のひろば」で配布します。

■地球工房

(土曜日：午後1時～午後4時)
(日曜日・祝日：午前11時～午後4時)

鉱物や化石など、天然の素材を利用したものづくりができます。
※なお、連休期間の開催時間を変更する場合があります。

理工館3階 創造のひろば

生命館6階 学習室

生命館6階 実験室

理工館3階 創造のひろば

生命館2階

■ロボット教室(事前申込)

(午前10時～午後4時)

自律型サッカーロボットの製作やプログラミングなどを行います。

■ロボット工房

(午前10時～午後4時)

製作した自律型サッカーロボットのプログラムの改良などを行います。
※ロボット教室参加者のみ

プラネタリウム

プラネタリウム

■一般投影(約50分)

今夜の星の探し方から、その時々天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方向けに、専門学芸員が生で解説します。

7・8月 『めざせ! 月面着陸』 (7/19～9/6)

21世紀の月面探査は、目的を絞った無人着陸が主流になっています。月の裏側や極域への着陸やサンプルリターン、日本のピンポイント着陸、民間機の挑戦など各国がしのぎを削っています。

9月 『スマホで楽しむ星空』 (9/7～9/30)

スマホカメラの技術は大いに進化し、星空を手軽に撮影できるようになりました。便利な星空アプリやネット上の情報にもその場でアクセスできます。スマホを使った星空の楽しみ方をまとめます。

■ファミリーアワー(約50分)

幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろん、宇宙旅行や冒険にもかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方にもおすすめです。

■夜間投影(事前申込) 午後6時30分～午後7時30分 ※高校生以上限定です。

10月 『シドニーの星空 ～姉妹都市提携45周年記念～』 (10/1～10/30)

名古屋市とシドニー市が姉妹都市になって45周年を記念して、シドニーの星空をプラネタリウムで再現します。名古屋からは見られない南十字星やマゼラン雲など、南天の星空をお楽しみください。

11月 『ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡』 (10/31～11/30)

2021年に打ち上げられたジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡は、地球から150万kmも離れた地点で次々と成果を出しています。打ち上げからの経緯と美しい画像、科学成果を見てみましょう。

12月 『太陽系に生命を探す』 (12/3～1/6)

太陽系の中での生命探査といえば火星が思い浮かびますが、実は太陽からずっと遠く寒いはずの木星や土星付近にも生命が存在する可能性があります。大型惑星の衛星の生命探査が始まっています。

天文イベント

■市民観望会(事前申込)

7月：午後6時45分～午後9時
10月～12月：午後6時15分～午後8時30分

プラネタリウムでの講座の後、口径80センチの大望遠鏡をはじめ多数の望遠鏡で、観望条件のよい天体を観望します。

■屋間の星をみる会(申込不要・入館者対象)

午前11時～午後2時

天文台の口径80センチの大望遠鏡で屋間にみえる星を観望します。
曇天・雨天の場合は天文台公開となります。

■オンライン市民観望会(申込・参加費不要) 11月25日(火)：午後6時30分～午後7時「土星」

教室・講座など

■かがくの実験室

事前申込

学芸員によるお話や実験・工作の講座です。

■生きている地球の記録

事前申込

グリーンイメー国際環境映像祭入賞作品上映会

■電子工作教室

事前申込

小さな電子部品をハンダ付けしながら電子回路を作り、電子回路の基本を学ぶ

■おじやま虫の世界

申込不要

おじやま虫(衛生害虫)について、蚊やスズメバチをはじめとした標本などの展示や、感染症対策として手洗いの紹介等を行います。

■手の菌を見てみよう

申込不要

自分の手の菌を培養して、ヒトの手に付いている常在菌について学びます。

■公開セミナー「物理学と宇宙」

事前申込

名古屋大学の関連研究者と科学館学芸員による講座です。

■夏休み親子写真教室

事前申込

ピンホールカメラを製作し、屋外で白黒写真を撮影した後、現像を行います。

■中京大学人工知能高等研究所との連携講座

事前申込

中京大学の先生や学生と、実験・工作・プログラミングなどを行います。

■天野先生特別講演会

事前申込

2014年にノーベル物理学賞を受賞された天野浩先生による特別講演会です。

■エコパルなごや出張ワークショップ

申込不要

不用になったチラシがカラフルなペーパービーズになります。それを使ってプレスレットを作ります。

■親子からくり教室

事前申込

日本で唯一のからくり人形師である九代玉屋庄兵衛さんに、からくり人形の実演を行っていただきます。また、簡単なからくり人形を製作します。

■航空教室

事前申込

ゴムカタパルトで飛行させる高性能ペーパーグライダーを製作し、競技会を行います。

■名古屋シドニー姉妹都市連携45周年記念事業「名古屋×シドニー サイエンスコラボフェス」

申込不要

10/1～11/30は、名古屋シドニー姉妹都市連携45周年を祝って、館内いろんな場所で関連展示や関連イベントが盛りだくさん。

■青少年のための科学の祭典

申込不要

多くの演者がユニークな手法でお祭りの出店のように多彩な実験や工作を展開します。※一部のブースにおいて整理券の事前申込があります。

■楽しい鉄道模型展

申込不要

さまざまな縮尺の鉄道模型の運行をご覧ください。

■かがくゼミナール

事前申込

専門家によるお話や実験・実習の講座です。

■ノーベル賞からみる最新研究講演会

事前申込

今年のノーベル賞(科学3賞)の受賞研究とその関連研究を専門家が解説します。

※事前申込方法等の詳細については科学館公式ウェブサイトをご覧ください。

表内の00は日にちを表します。

2025 7月

8月

9月

10月

11月

12月

土曜日・日曜日の科学館

ものづくり工房

ものづくり教室

土曜日

地球工房

日曜日・祝日

ロボット工房

ロボット教室

プラネタリウム

一般投影

ファミリーアワー

夜間投影

ブラックホール

めざせ! 月面着陸

スマホで楽しむ星空

シドニーの星空

ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡

太陽系に生命を探す

いるか座ものがたり

七タの夜

さまざまな波長でみる宇宙

旧暦七タの夜

お月見の夜

クリスマス夜

市民観望会

月と二重星をみる会

月をみる会

土星をみる会

土星と月をみる会

オンライン市民観望会「土星」

土星とすばるをみる会

昼間の星をみる会

13 26

10 16

14 21

11 18

8 23

7 20

教室・講座等

かがくの実験室

生きている地球の記録

電子工作教室

おじやま虫の世界

生命ラボ連携事業「手の菌を見てみよう」

公開セミナー「物理学と宇宙」

かがくの実験室

夏休み親子写真教室

中京大学連携講座

天野先生特別講演会

エコパルなごや出張ワークショップ

親子からくり教室

名古屋シドニー姉妹都市連携45周年記念事業「名古屋×シドニー サイエンスコラボフェス」

青少年のための科学の祭典

楽しい鉄道模型展

エコパルなごや出張ワークショップ

ロボットカップなごや

特別展・企画展

19

23

特別展「古代DNA」

8

21

特別展「昆虫MANIAC」(仮)

★行事の中止または、内容と日程を変更する場合があります。

令和7年度科学創作コンクール作品募集

科学の夢を描く部門

「科学の夢」を描いた絵画作品を募集

対象／幼児(3歳以上)、小学生、中学生 ※個人のみ

科学工作部門

科学的な考えを活かして作った工作品を募集

対象／小学生、中学生、高校生 ※個人または5人以内のグループでの応募も可

理科自由研究部門

観察や実験を行い、まとめた理科の自由研究のレポートを募集

対象／小学生(3年生以上)、中学生 ※個人のみ

募集期間

8月22日(金)から

9月5日(金)まで

詳細については科学館公式ウェブサイトまたはチラシをご覧ください。